

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	2 9	受 理 年 月 日	令 和 5 年 12 月 7 日
件 名	塔南高校跡地への巨大給食センター建設の見直しと自校調理方式の検討		
要 旨	<p>この度京都市教育委員会は、全員制の中学校給食実施に向けて検討会議の議論をまとめられた。給食センター方式一択ということに納得がいかないのと同時に、突如、南区の塔南高校跡地の1か所で市内63の中学校分2万6,000食を担うという、全国最大の巨大給食センター建設の計画にただただ驚くばかりである。検討会議のまとめで給食センターは2か所だと話があったときでさえ、自校調理方式の可能性も残し、給食センターは中規模でせめて3から4か所だと意見が出ていたところである。</p> <p>先日11月22日の近隣住民に向けた説明会があったが、地域住民からは不安な声がたくさん出ている。もっと広く周知の必要もあったとの意見もあった。</p> <p>交通道路状況について問題視されている。200メートル先には祥栄小学校があり、通学路、学童に通う子供たちもいる。通学路で安全見守りをされているボランティアの方からも、交通安全について心配の声があった。また、地域の医療・介護現場からは、往診車が渋滞に巻き込まれることがあるなど、渋滞について指摘があった。説明会では、道路事情と説明されたが、学校付近になるととても狭い道路になっている所もある。交通トラブルなどなく調理後2時間以内に届け切ることが可能なのか、交通安全は守られるのか疑問である。</p> <p>中学校現場の実情を認識したうえで計画をされているのかも疑問である。時間内に届かない場合、どう対応されるかとの質問には、午前の授業で終了し、生徒を帰宅させる可能性もあるかもと話されたのは、教育委員会の無責任と言える。巨大給食センターは、余りにも急展開の話である。そして、給食に関するトラブルはまず、学校の先生が対応されると思う。この間、小中高の複数の先生と話す機会があり、2万6,000食のことを話すと、その数は無理でしょうと驚かれる。</p> <p>余りにも急展開の巨大給食センター建設について、いま一度、住民や関係者の声を聴き、塔南高校跡地に巨大給食センターが建設されることが妥当なのか、考え直す必要があると考える。また、建設地決定の経緯についても疑問である。2万6,000食は非現実的で、子供たちに責任を持って給食が届けられるとは思えない。親子調理方式を含めた自校調理方式の給食で学校が行う食育を实践すべきと考える。</p> <p>23年前に選択制で始まった中学校給食は、利用率も大変低いものであった。今度こそ、みんなが納得いく温かくおいしい中学校給食を望む。については、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 塔南高校跡地への巨大給食センター建設を見直すこと。 2 自校調理方式(親子調理方式含む)の可能性を検討すること。 		
請 願 者			
紹 介 議 員	森田ゆみ子、やまね智史、えもとかよこ、山本 陽子		
付 託 委 員 会	文教はぐくみ委員会		